



グローバルな視点を持ち、新たな価値を創造する人材の育成

西条高校は、1期に引き続き、令和3年度から5年間、文部科学省が指定するSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に選ばれ、II期2年目です。SDGsの達成に向けて科学技術イノベーションを担う生徒の育成を目標に、生徒の多彩な進路実現を目指します。

マルチサイエンス I (2年生 課題研究) 研究経過報告会

7月5日に課題研究の経過報告会を行いました。講座ごとに、テーマ設定の理由や研究手法の説明を中心に、これまでの取組を発表しました。他の班の発表を聞き、質疑応答の場面も活発なやり取りが見られました。いくつかの班の発表の様子を紹介します。

英語

「ワードカウンターを使ったスピーキング力の向上」

2年1組 山内 一花 さん
英語の4技能の中で、スピーキングに着目して研究を進めています。報告会では、他の班の発表を聞いたり、自分たちの研究を評価してもらったりして、良い刺激を受けました。

理科

「ナメクジ忌避に効果的な天然生成物の探究」

2年5組 相原 美友 さん
農作物を食い荒らすナメクジを避けるために、薬品を使わない、天然生成物から作られた忌避剤を作る研究をしています。報告会では、活発な質疑応答が繰り広げられ、今後の課題を見つけることができました。



取材・文: 新聞部



国語



家庭科



地歴・公民科



有法子 (1年生) クラス発表会

7月12日に医療・防災をテーマにクラス発表会を行いました。課題設定から研究手法を提示するところまでを班でポスターにまとめて、発表を行いました。発表を繰り返すごとに要領をつかみ、ユーモアを交えながら話を進めていく姿や、班で協力して質問に答える姿が見られました。発表の様子と生徒の感想を紹介します。

テーマ「地域の共助」

リサーチクエスト
西条市の命をより多く守るためにはどうすればよいか。
地域で安全に避難するための工夫は、高齢者や子どもたちの防災への理解を深めるために行えるか。

課題設定の理由
災害時に幼稚園や保育園の職員だけでは全園児を安全に避難させるのが難しいと考えたから。
高齢者だけでは避難が遅れてしまい、危険だと思ったから。

仮説
高齢者と保育園など合同の避難訓練をすることでより多くの命を助けられる。
高齢者が園児の避難を手伝うことにより、保育園の園児の負担を減らすことができる。
合同で避難訓練をすることで地域の人の絆が深まる。

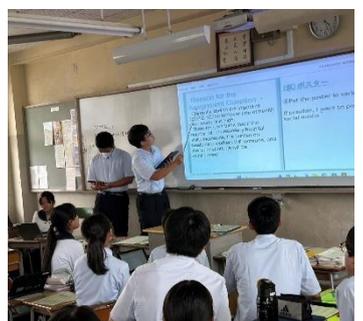
ハザードマップを作る
→自分たちが作ることで自分たちの理解が深まる。
→高齢者をサポートできる。

テーマ「西条市の医療従事者の減少について」

リサーチクエスト
西条市の医療従事者の減少を防ぐにはどのような方法があるか?
少子高齢化によってどんなことが医療従事者の負担になっているか?

課題設定の理由
西条市では、医療従事者の減少がすすんでいる。そのため、医療現場で働く方々への負担が増え続けているから。
医療現場の方々への負担が増えている中、将来医療現場で働きたいと考えているため。

仮説
医療の魅力をみんなに知ってもらう。
将来医学の道に進みたいと思う人たちが増える。
西条市の医療従事者の数が増える。
医療従事者の負担が減るのではないか。



1年5組 伊藤 沙夏 さん

クラスのみんなと地域の課題を見つけ、問題を解決するための手立てを考えることができました。また、他の班の発表を聞いて、西条市に対する関心が深まりみんなと協力して考え、意見を述べることができました。ました。